

平成15年度市町村普通会計決算のポイント

奈良県総務部市町村課 11.24

平成15年度普通会計決算の特徴

平成15年度普通会計決算の特徴は、歳入が引き続き減少するなか、人件費抑制や投資的経費の大幅減少に取り組んだものの、児童福祉費や社会福祉費、国保会計・介護保険事業会計への繰出金といった福祉・医療関係経費が大幅に増加し、財源不足を生じそれを補うべく、基金の大幅な取り崩しにより一時的に収支尻を合わせたものとなっている。赤字団体は2団体。非常に厳しい財政運営を強いられている。

特徴のイメージ

[歳入は引き続き減少]

地方交付税 (8.1%、 107億円)
市町村税6年連続減少 (3.4%、 59億円)

[収支全体で悪化]

投資的経費 (8.3%、 94億円)
人件費 (2.2%、 27億円)

福祉・医療経費 (+ 12.9%、 + 87億円)
公債費 (+ 3.6%、 28億円)

(参考) 福祉・医療関係経費の増減

(単位: 百万円)

	扶助費					繰出金			計
	児童福祉費	社会福祉費	生活保護費	老人福祉費	その他	国保	介護	老健	
H14	16,225	7,170	17,359	3,448	926	6,876	8,726	6,349	67,078
H15	18,811	9,553	18,851	3,648	1,032	8,036	9,206	6,624	75,761
増減	2,586	2,384	1,492	200	107	1,160	480	275	8,684

[基金の取り崩しで収支尻]

基金残高 (98億円)